

令和2年度公共事業再評価諮問箇所一覧表

農地整備課

令和2年度公共事業再評価諮問箇所一覧表

No.	事業名	事業箇所 (地区名)	事業年度 (上段:前回) (下段:今回)	進捗率 (上段:前回) (下段:今回)	対応方針
1	県営かんがい排水事業	鳥栖南部	— H23~R4	— 94%	継続
2	県営かんがい排水事業	佐賀西部高域	— H23~R5	— 59%	継続

県営かんがい排水事業のB/Cの考え方

○総便益(B):

農業用水の安定供給により作物生産の増収額、営農経費の節減額、維持管理費の節減額等

【便益の詳細】

○作物生産効果

事業実施により、農地や水利条件が改良又は維持されることに伴って、その受益地域内で発生するとみなされる作物生産の量的増減を捉える効果。

○品質向上効果

作物生産の立地条件が改良又は維持されることに伴う、生産物の品質への影響に関する効果。

○営農経費節減効果

現況の営農技術体系や経営規模等が変化することに伴って、作物生産に要する費用(労働費、機械経費、その他の生産資材費)の増減を捉える効果。

○維持管理費節減効果

事業を実施した場合と実施しなかった場合を比較し、施設の維持管理に要する経費の増減を捉える効果。

○国産農産物安定供給効果

事業実施により、農地や水利条件の改良等がなされることに伴って、その受益地域内で維持・向上するとみなされる国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果。

○総費用(C)

用排水施設整備費 + 事業期間中及び供用開始後の40年間に要する維持管理費

○費用便益比: 総便益(B) / 総費用(C)